

## 臨床工学室

### 《概要》

今年も昨年に引き続き、立会い業務と医療機器の安全管理業務の拡充により、業務(体外循環・血液浄化・心臓カテーテル・心臓ペースメーカー・呼吸療法関連・手術室関連・医療機器保守管理等)量が増大した。

臨床工学室のスタッフは8名(瀧脇栄治、河野栄治、中谷暁洋、岩本匡史、大畑達哉、三代千恵、土生川仁美6月退職、川上遊貴5月入職、向井久登9月入職)であるが、非常勤職員の入れ替わりがあり十分な業務体制をとることが出来なかった。新入職者が一人で業務が行えるようになるには、ひとつの業務分野に対して最低3年は必要とする。臨床工学技士8名が各々の分野で十分な力が発揮できる体制作りが始まったばかりである。

BSCの導入や臨床工学技士の卒後研修などで組織の運用に関して多くの知見を得た。今年目標管理シートを導入し、一人ひとりが業務目標と実施計画を立てることを行った。まだまだ、運用がうまく行えていないが将来的には、業務目標管理と業務自己評価が行える体制に持っていければとスタッフ全員で取り組んでいる。

臨床工学室は、新たな飛躍のために知識・技術の充電と組織改革に一步踏み出した一年であった。

### 《実績》

#### 心臓血管造影室業務

総症例数	1,241症例
経皮的冠動脈形成術	426症例
緊急症例	196症例
血管内超音波	449症例
血管内光断層撮影	32症例
右心カテーテル検査	124症例
薬剤負荷試験	32症例
電気生理検査	20症例
経皮的下肢血管形成術	45症例
心筋生検	8症例
下大静脈フィルター留置術	42症例
高速回転式粥腫切除術	30症例

#### 血液浄化関係業務

血液浄化センター	
人工透析	2,259件
LDL 吸着	13件
腹水濾過濃縮	3件
ICU/CCU	
持続的血液濾過透析	101件
血液透析	61件
持続的血液透析	20件
血液濾過透析	10件
血液濾過	5件

持続的血液濾過	37件
血漿交換	9件
持続血漿交換	5件
PP	4件
PMX	3件
体外循環関係業務	
人工心肺	68症例
完全体外循環	48症例
脳分離体外循環	11症例
部分体外循環	7症例
低体温循環停止	2症例
Off Pump CABG	28症例
自己血回収術	25症例
補助循環	
経皮的心肺補助	14例
大動脈内バルーンパンピング症例	54例
ペースメーカー業務	
恒久的ペースメーカ新規埋め込み症例	38症例
恒久的ペースメーカ本体交換症例	25症例
ICD新規埋め込み症例	5症例
CRT-P新規埋め込み症例	1症例
CRT-D新規埋め込み症例	6症例
ペースメーカー・ICD・CRTチェック	264症例(646回)
ペースメーカー関連勉強会実施	約9回
ME機器関係業務	
ME機器修理受付件数	763件
保守点検件数	305件
人工呼吸器・麻酔器関係業務	
人工呼吸器	
院内ラウンド回数	42回
メーカー定期点検	4件
院内 CE 定期点検	10件
麻酔器業務	
メーカー定期点検	7件
人工呼吸器関係勉強会実施	7回
ラジオ波焼灼治療立会	
総件数	21件
乳腺腫瘍	20件
肝臓腫瘍	1件
学会認定等取得	
中谷暁洋	第1回ペースメーカー関連検定試験合格
大畑達哉	透析技能2級検定試験合格